

彙報

一 京都大学文学部哲学科卒業論文題目

昭和五十六年三月

哲学

青木 宏 ヤスバースの科学論と現代

岩坂 彰 『純粹理性批判』におけるカテゴリーの演繹について

加藤 恵介 ハイデッガーの実存論的分析に於ける実存的
問題連関

品川 哲彦 フッサール『デカルト的省察』における他者
の問題

福嶋 聡 ヘーゲルにおける生 (Leben) の概念
——ヘーゲル弁証法の目指したものと方
法——

山本 精一 カント第一批判における対象性の問題

佐野 之人 ヘーゲル『精神現象学』
——「意識」の章についての考察——

中釜 浩一 ホワイトヘッドの自然観
——科学的物質主義との対決——

増尾 曉洋 世界と言語
曾我 逸郎 価値崩壊の時代

寺田 晶英 ヘーゲル『精神現象学』
——実体性の回復ということについて——

寺口 瑞生 ウィリアム・ジェームズの根本的経験論につ
いて

永井 互 『教行信証』の信について
——往還二相の構造をめぐって——

西洋哲学史

角谷 博 プラトン『パイドン』における死の定義につ
いて

仲川 章 プラトン『国家』における「ミメーシス」
プラトン『メノン』における想起説

馬場 建次 プラトン『ゴルギアス』における *κρυπτός*
宮崎 晃 *κρυπτός* について

中国哲学史

坂内 栄夫 陸修静について

中 純夫 阮元の「性命古訓」について

小林 清市 顔氏家訓について
心理学

伊藤 信博 脈絡内での発話の理解可能性
唐澤 稜 集団の圧力による意見変化に及ぼすコミット
メントの効果

野崎直美 乳児期における物とのかかわり
 藤岡誠子 乳児期における物の操作の発達について
 村瀬俊樹 記憶の体制化にみる幼児の概念形成
 尾入正哲 視覚探索課題に及ぼすカテゴリー情報の効果
 牧田広志 自発的態度変化に関する一研究(その2)
 小島正見 説得に及ぼすメッセージ要因の効果

倫理学

穴田公夫 初期ニーチェの若干の問題——“Leben”を中心とする——について
 平石隆敏 G.W.F.ヘーゲル『法哲学』に於ける「市民社会」概念について

本田裕志 ベルクソン哲学の実践的主張を探る試み
 前田義郎 カントにおける「三段の総合」について

美学美術史学

伊藤富美子 ピカソ芸術におけるアルカンの意味
 宇恵智子 カント『判断力批判』における構想力の概念
 大宮康男 定期以降に於ける阿弥陀像の展開
 ——浄瑠璃寺九躰阿弥陀像を中心として——

小西肇 音楽と時間について
 鈴木須美子 ジャコポ・ダ・ポントルモ論
 廣野万寿美 構造分析と文学

矢追政宏 芸術と言語
 山名伸生 唐招提寺盧舎那仏像について
 北村知之 想像的意識と芸術作品の存在様態
 柴田三津雄 パウル・クレーラー論
 平田富美子 東大寺三月堂の諸像について
 若芝順子 解釈学としての美術史の成立について
 ——Panofskyの方法——

社会学

安藤真澄 準抛擲選定に介在する他者イメージ
 伊勢大助 日本政治の社会学的一考察
 鶴銅正樹 民衆意識論

黒田浩一郎 「分裂病」の社会学的考察
 ——R. D. Laingを中心として——

世古口正和 都市と犯罪

鶴井享 日常生活における「遊び」の問題
 原田隆司 Z. S. スメルサーの社会変動理論における若干の問題

青汲収一 現代社会における構造変動
 内山昌彦 情報化社会における社会意識の研究
 田中昌宏 文芸思潮形成の社会的条件
 柳川洋一 人口移動研究の諸問題
 吉田研一郎 学歴社会をめぐる若干の考察

仏教学

中国哲学史

青山 享 *Sardulakarnavadana* について
足立 誠 *Vissuddhimagga* における不淨観について

今倉 章 孟子の研究
呉 二 煥 孔子の天に対する意識

二 京都大学大学院文学研究科(哲学系)

修士課程修了論文題目

——昭和五十六年三月——

西洋哲学史

哲学

野村直正 超越論的な領野への問い

宗教学

米田和夫 『意識の直接与件に関する試論』の構造

大塚賢司 ロックに於ける観念と実在について

高瀬正宏 ライブニッツにおける自由の問題をめぐって
中路正恒 ニーチェ研究
——ルサンチマンから価値転換へ——

田村均 ジョン・ロックの言語理論について

松田京三 『純粹理性批判』に於ける超越論的対象と物自体

仏教学

吉田明 ハイデガーにおける VORSTELLUNG の問題

佐々木容道 *Abhidharmasamuccaya* に於ける *Upādāna*

糸目明 シェリング『自由論』における神義論と体系問題

心理学

倫理学

伊藤正博 P. Ricoeur の *Faillibilité* の概念をめぐる考察

飼原寿夫 視覚的マスキングの神経生理学的モデルと心理学的モデル
片岡基明 人見知りと母子交流
北山 忍 少数者によるグループ規範の変革過程について

ての実験的研究

高橋成子 対比効果による固有色の移行と反対色反応の變化

高橋十九朗 反応数の制限を条件とした「ロ」反応の行動統制についての研究

辻阪吟子 組織内におけるコンフリクトについて
坪井克司 文字認知における音韻処理について
吉村英 原因帰属 (Attribution) に及ぼすコンセンサス情報の効果

社会学

蘭 信三 「村落共同体論」の再検討

美学美術史学

鹿子木伸子 智積院障壁画に関する一考察

北村清彦 ポール・リクールの解釈学

中村俊春 セザンヌ晩年の芸術

山口典子 ファン・ゴッホにおけるシンボリズム

三 京都大学大学院文学研究科博士課程単位

修得者ならびに博士後期課程学修者氏名
(但し、哲学系のみ)

——昭和五十五年三月——

社会学専攻……富永茂樹 (以上単位修得者)

哲学専攻……魚住洋一 児玉正幸 権八哲明
角 忍 浜野研三 美濃 正

中国哲学史専攻……川原秀城 渡部菊郎

印度哲学史専攻……正信公章 茂木秀淳
西洋哲学史専攻……小澤和道 山本千洋
宗教学専攻……荒井 優 菱木政晴 宮永 泉

仏教学専攻……秋本 勝
基督教学専攻……片柳俊子 安酸敏真
心理学専攻……塩坪いく子 長谷川芳典

社会学専攻……栗岡幹英 高橋由典 千葉芳夫
美学美術史学専攻……金田千秋 篠原資明 (以上学修者)

——昭和五十六年三月——

西洋哲学史専攻……山下一道

印度哲学史専攻……八木 徹 (以上単位修得者)

哲学専攻……高田珠樹 富田恭彦

倫理学専攻……松島哲久

中国哲学史専攻……中西啓子

印度哲学史専攻……赤松明彦 黒田泰司

西洋哲学史専攻……福谷 茂 山田道夫

宗教学専攻……野沢正次郎

仏教学専攻……榎本文雄

基督教学専攻……伊藤利行
 心理学専攻……岩崎隆彦 鳥居正雄 松村暢隆
 社会学専攻……声田徹郎 伊藤公雄 細辻恵子
 安野早巳 小松秀雄
 美学美術史学専攻……加藤哲弘 岸文和 (以上学修者)

四 京都大学文学部哲学科講義題目

——昭和五十六年度——

※二回生が履習できる専門科目

〔共〕大学院と共通

〔院〕大学院のみ

哲学

講義 教授 辻村 公一 ※哲学概論
 研究 教授 辻村 公一 ハイデッガーの思索空間 〔共〕
 ” 助教授 竹市 明弘 哲学的思惟の反省 〔共〕
 ” 講師 梅原 猛 日本思想史(倫理学、宗教学、仏
 教学と共通) 〔共〕
 ” 講師 今道 友信 Metatechnica 〔共〕
 演習I 教授 辻村 公一 Hegel: Enzyklopadie der phi-
 losophischen Wissenschaften 〔共〕
 ” 助教授 木曾 好能 Hume: A Treatise of Human

演習 教養部 Bernhard Nature 〔共〕
 外人教師 Scheffele Zum Problem von Verstehen
 und Fremdheit bei Nietzsche 〔共〕

” 講師 斎藤 義一 Kant: Über die Fortschritte der
 Metaphysik seit Leibniz und
 Wolff 〔共〕

” 講師 井上 庄七 Descartes: Les Passions de
 l'Âme 〔共〕

” 講師 山形 頼洋 Merleau-Ponty: L'oeil et l'esprit 〔共〕

演習II 助教授 辻村 公一 哲学の諸問題 〔院〕
 助教授 木曾 好能

西洋哲学史

講義 教授 藤沢 令夫 ※西洋古代哲学史概説
 ” 教授 山田 晶 ※西洋中世哲学史概説
 ” 教授 酒井 修 ※西洋近世哲学史概説
 研究 教授 藤沢 令夫 プラトン後期認識論の問題 〔共〕
 ” 教授 山田 晶 創造の問題 〔共〕
 ” 教授 酒井 修 芸術および歴史の問題と解釈学 〔院〕
 ” 人文研 山下 正男 中世における論理学と修辭学 〔共〕
 ” 助教授

研究 講師	稲垣 良典	トマス・アクイナスの倫理学	〔共〕	演習 講師	水田 英実	Thomas Aquinas: De ente et essentia	〔共〕
理学部 教授	日高 敏隆	現代生物学の基礎概念(心理学と共通)	〔共〕	〃 講師	中川 純男	Augustinus: De civitate Dei, I	〔共〕
〃 助教授	品川 嘉也	科学哲学論(心理学と共通)	〔共〕	演習Ⅰ教授	酒井 修	G.W.F. Hegel: Phänomenologie des Geistes. (Selbstbewußtsein 40)	〔共〕
〃 講師	野本 和幸	現代論理学の形成	〔共〕	演習Ⅱ教授	酒井 修	G.W.F. Hegel: Phänomenologie des Geistes (PhB版④四三〇頁 40)	〔共〕
〃 講師	森 啓	スピノザ哲学の方法	〔共〕	演習Ⅰ教授	木村 彰吾	M. Merleau-Ponty: Phénoménologie de la Perception 〔共〕	〔読〕
演習Ⅰ教授	藤沢 令夫	Platon: Timaeus 39E~(西洋古典語学西洋古典文学と共通)	〔共〕	演習 講師	山野 耕治	W. Jaeger: Paideia, die Formung des griechischen Menschen. 第三卷④ Platos Gesetze~	〔共〕
演習Ⅱ教授	藤沢 令夫	Aristoteles: De Caelo 7. 1~	〔共〕	講師	今林万里子	Platon: Charmides (倫理学と共通)	〔共〕
演習Ⅰ教授	岡 道男	Thucydides, 1~(西洋古典語学西洋古典文学と共通)	〔共〕	〃 講師	三谷 好憲	William James: The Will to Believe. (宗教学と共通)	〔共〕
演習Ⅲ講師	種山 恭子	Plotinos: Enneades III. 2 〔共〕	〔共〕	〃 助教授	酒井 修	※(1) I. Kant: Prolegomena	〔共〕
演習Ⅰ教授	山田 晶	Augustinus: De Trinitate, I	〔共〕	〃 助教授	福谷 茂	※(2) Th. Hobbes: Leviathan	〔共〕
演習Ⅱ教授	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Theol. I, q. 20 40	〔共〕	印度哲学史	印度哲学史		
演習Ⅲ教授	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Theol. I, q. 66 40	〔共〕	講義 教授	服部 正明	※インテ思想史	
演習 講師	日下 昭夫	Anselmus: De libertate arbitrii	〔共〕				

研究 教授 服部 正明 諸学派のIndian論 [共]

演習 助教 池田 秀三 程瑤田「論学小記」 [共]

講 師 井狩 弥介 ヒンドゥー教儀礼の研究(梵語学
梵文学と共通) [共]

人文研 尾崎雄二郎 説文解字注(中国語学中国文学と
共通) [共]

講 師 矢野 道雄 古典インド文献における夢占いの
研究(梵語学梵文学と共通) [共]

講 師 日原 利国 翁注「困学紀聞」 [共]

講 師 徳永 宗雄 南インドの言語と文化(梵語学梵
文学と共通) [共]

心理 学 翁注「困学紀聞」 [共]

演習 教授 服部 正明 Parisads [共]

講 義 教 授 本吉 良治 ※心理学概論

助 教 授 小林 信彦 サンスクリット文選I(梵語学梵
文学、仏教学と共通) [共]

教育 学 部 河合 隼雄 臨床心理学(臨床心理学概論)(教
育学部と共通) [共]

講 師 徳永 宗雄 Harivamsa (Visṇuparvan) (仏
教学と共通) [共]

教育 学 部 盛之 視聴覚教育(教育学部と共通) [共]

語 学 助 手 正信 公章 ※サンスクリット文法(各学科共
通サンスクリット文法、仏教学、
西南アジア史学、梵語学梵文学と
共通) [共]

研究 教 授 平野 俊二 強化の機構 [共]

講 師 徳永 宗雄 Harivamsa (Visṇuparvan) (仏
教学と共通) [共]

教 養 部 中谷 和夫 多変量解析と心理学的方法 [共]

中国哲学史

講 師 藤崎 博也 音声言語の生成と知覚(言語学と
共通) [共]

講 義 助 教 授 池田 秀三 ※中国思想史

講 師 柏木 恵子 社会化過程に関する諸問題 [共]

研究 助 教 授 池田 秀三 白虎通義の研究 [共]

講 師 飛田 武幸 ゆらぎの数理 [共]

助 教 授 吉川 忠夫 鄭玄の学団(東洋史学と共通)

理 学 部 日高 敏隆 現代生物学の基礎概念(西洋哲学
史と共通) [共]

講 師 佐藤 仁 朱子学研究 [共]

医 学 部 品川 嘉也 科学哲学論(西洋哲学史と共通) [共]

講義	講師	末永 俊郎	(未定)(社会学、教育学部と共通)				
〃	講師	杉村 健	学習心理学(教育学部と共通)				
〃	講師	鹿取 廣人	視聴覚教育(知覚の発達)(教育学部と共通)				
演習	教授	平野 俊二	心理学演習II				
〃	教授	平野 俊二	心理学演習I (Black, A. H. & Prokasy, W. F. (Eds): Classical conditioning II: Current research and theory, 1972)				
〃	教授	平野 俊二	心理学特殊実験(実験乙)				
〃	教授	平野 俊二	心理学基礎実験(実験甲)				
〃	講師	岸畑 豊	十七世紀イギリスの倫理思想				
〃	講師	梅原 猛	日本思想史(哲学、宗教学、仏教学と共通)				
〃	講師	森口美都男	Kant: Kritik der reinen Vernunft (Transzendental Logik B 74 (=A 50) か)				
〃	講師	森口美都男	倫理学の諸問題				
〃	講師	西谷 裕作	Leibniz: Nouveaux Essais sur l'Entendement Humain				
〃	講師	西谷 裕作	現代心理学の諸問題				
〃	講師	中島 誠	発達心理学演習				
〃	講師	木下 富雄	社会のルール・システムの研究				
〃	講師	西谷 裕作	※倫理学概論				
〃	講師	中 久郎	共同性論(社会学と共通)				
〃	講師	上山 春平	国家について				
〃	講師	藤 縄 昭	精神病理学の諸問題				
〃	講師	磯江 景夜	カント実践哲学と現代の諸問題				
〃	講師	西谷 裕作	演習I 教授				
〃	講師	西谷 裕作	演習II 教授				
〃	講師	西谷 裕作	助教授				
〃	講師	西谷 裕作	助教授				

哲学研究 第五百四十三号

演習 教授 山本 誠作
A. N. Whitehead: Process and Reality, 第二章 Categorical Scheme より (宗教学と共通) [共]

演習I教授 吉岡健二郎 美学美術史学の諸問題
教授 清水 善三

” 講師 深谷 昭三
M. Scheler: Der Formalismus in der Ethik und die materiale Werethik [共]

演習II教授 清水 善三 美術史学の实地指導 [共]
助教授 佐々木丞平

” 講師 西谷 裕作
Alain: Idées [共]

講師 米沢 有恒 Alfred Baunler: Hegels Aesthetik. [共]
助手 定金 計次

” 講師 安彦 一恵
Hegel: Frühe Schriften [共]

” 助手 篠原 資明 Mikael Dufrenne: Phénoménologie de l'expérience esthétique. [共]

” 講師 今林万里子
Platon: Charmides (西洋哲学史、学部と共通) [共]

” 助手 篠原 資明 Mikael Dufrenne: Phénoménologie de l'expérience esthétique. [共]

” 講師 今林万里子
Platon: Charmides (西洋哲学史、学部と共通) [共]

” 助手 篠原 資明 Mikael Dufrenne: Phénoménologie de l'expérience esthétique. [共]

美学美術史学

社会学

講義 教授 吉岡健二郎 ※美学概論

講義 教授 中 久郎 社会学概論 [共]

講義 教授 清水 善三 ※日本美術史概説

研究 教授 中 久郎 共同性論(倫理学と共通) [共]

研究 教授 吉岡健二郎 様式と構造 [共]

” 助教授 宝月 誠 社会過程論 [共]

” 教授 清水 善三 日本上代彫刻史の研究 [共]

” 助教授 高橋 三郎 変動期の家族 [共]

” 助教授 佐々木丞平 日本における初期文人画の研究 [共]

” 講師 益田 庄三 日本のみらの実証研究 [共]

” 教授 乾 由明 近代日本の美術 [共]

” 講師 光吉 利之 家族と親族の社会学 [共]

” 教授 西村規矩夫 北方ヨーロッパ絵画史論 [共]

” 講師 新 睦人 社会システム研究の方法的諸問題 [共]

” 講師 山岡 泰造 雪舟から永徳へ [共]

” 講師 大村 英昭 宗教社会学序説 [共]

” 講師 宮 次男 絵巻物概説(国語学国文学と共通) [共]

” 講師 上野千鶴子 記号論と社会学 [共]

” 講師 宮 次男 絵巻物概説(国語学国文学と共通) [共]

” 講師 末永 俊雄 (未定)(心理学、教育学部と共通) [共]

研究 講師 高沢 淳夫 統計調査のデータ処理について [共]

” 講師 Robert M. Marsh 組織の比較研究(比較社会学と共通) [共]

演習I 教授 中 久郎 社会学の諸問題

演習II 助教授 宝月 誠 社会学方法論

講読 助手 平 英美 H. Garfinkel と E. Goffman の著作の講読

” 助手 安野 早巳 C. Riviere, l'objet social

研究 助教授 中 久郎 現代社会学の諸問題 [院]

” 教養部 作田 啓一 社会関係論再考 [院]

社会学(比較社会学)

研究 併任 坪内 良博 比較社会学の諸問題 [院]

” 人文研 助教授 谷 泰 場面行動の比較社会学的研究 [院]

” 講師 口羽 益生 環境・集団・価値 [院]

” 講師 Robert M. Marsh 組織の比較研究(社会学の学部と共通) [共]

演習 教授 水津 一郎 地域の諸問題(地理学と共通) [院]

助教授 応地 利明

宗 教 学

講義 教授 上田 閑照 ※宗教学概論

” 教授 上田 閑照 総論と自覚II [共]

” 助教授 長谷 正当 実存転換、あるいは転依をめぐる諸問題 [共]

” 講師 岡村 圭真 真言密教の根本問題 [共]

” 講師 梅原 猛 日本思想史(哲学、倫理学、仏教学と共通) [共]

” 講師 小川 圭治 現代神学における神の問題(基督教学と共通) [共]

演習I 教授 上田 閑照 Martin Heidegger: Was ist Metaphysik? [共]

” 助教授 長谷 正当 Henri Bergson: Les deux sources de la morale et de la religion [共]

” 演習II 助教授 上田 閑照 宗教哲学の諸問題 [院]

” 演習 助教授 長谷 正当 A. N. Whitehead: Process and Reality, 第二章 Categorical Scheme より(倫理学と共通) [共]

” 講師 石田 慶和 親鸞『教行信証』(仏教学と共通) [共]

” 講師 藺田 坦 E. Cassirer: Individuum und

Kosmos in der Philosophie der

哲学史と共通)

Renaissance

[共]

演習

講師

木庄 良文

Thera. Theri-gāthā

講読 講師 三谷 好憲

William James: The Will to Believe (西洋哲学史と共通)

[共]

演習

講師

御牧 克己

Blo gear grub mhalh. チベットの語(初級)(各学科共通)

Believe (西洋哲学史と共通)

[共]

講読

講師

佐々木惠精

チベットの語と共通)

講師 氷見 潔

Hegel: Vorlesungen über die Philosophie der Religion

[共]

助手

正信 公章

※サンस्क리트文法(各学科共通)

講師 氷見 潔

Hegel: Vorlesungen über die Philosophie der Religion

[共]

助手

正信 公章

※サンस्क리트文法(各学科共通)

Hegel: Vorlesungen über die Philosophie der Religion

[共]

助手

正信 公章

※サンस्क리트文法(各学科共通)

仏教学

講義 教授 梶山 雄一

※インド仏教思想史

[共]

講義

教授

水垣 涉

※古代キリスト教思想史

研究 教授 梶山 雄一

説一切有部の哲学

[共]

講義

教授

水垣 涉

※古代キリスト教思想史

講師 塚本 啓祥

アショーカ王碑文研究(梵語学梵文学と共通)

[共]

研究

教授

水垣 涉

信と知

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学、倫理学、宗教学と共通)

[共]

研究

教授

水垣 涉

ラテン教父の諸問題(Ⅱ)

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学、倫理学、宗教学と共通)

[共]

研究

教授

水垣 涉

ラテン教父の諸問題(Ⅱ)

講師 梅原 猛

日本思想史(哲学、倫理学、宗教学と共通)

[共]

研究

教授

水垣 涉

現代神学における神の問題(宗教学と共通)

演習 教授 梶山 雄一

蔵文『般若三昧経』

[共]

演習

教授

水垣 涉

Origenes: De principiis III (自

教授 大地原 豊

ハリー・ブランクリット文選(梵語学梵文学と共通)

[共]

演習

教授

水垣 涉

Origenes: De principiis III (自

助教 小林 信彦

サンस्क리트文選Ⅰ(印度哲学史、梵語学梵文学と共通)

[共]

講読

講師

荒井 章三

古典へブライ語文法および創世記

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

人文研 教授 柳田 聖山

『臨濟録』

[共]

講読

講師

遠藤 彰

原典の講読と釈義(西南アジア史学と共通)

講師 徳永 宗雄

Harivanṣa (Viṣṇuparvan)(印度

[共]

講師

片柳 栄一

D. Bonhoeffer: Akt und Sein

講読 助手 竹原 創一 P. Tillich: A History of [共]

Christian Thought

五 昭和五十五年度京都哲学会公開講演会記事

昭和五十五年度の本哲学会公開講演会は左記によって行われた。

昭和五十五年十月三十一日

於京都大学文学部第七講義室

自由と象徴

シナ思想における万物一体観

京都大学助教授 長谷正当氏
京都大学教授 湯浅幸孫氏

なお昭和五十年より五十四年度までの公開講演会の内容は左記の通りである。(職名は講演会当時)

昭和五十年十一月三日

「春秋」の夷狄観

大阪大学教授 日原利国氏
京都大学教授 武内義範氏

欲望について

昭和五十一年十月三十日

外的世界の認識

終末論の二形態

昭和五十二年十一月五日

エブ記における問の問題

京都大学助教授 木曾好能氏
京都大学教授 武藤一雄氏
京都大学助教授 水垣 渉氏

支配変動論

昭和五十三年十一月四日

ホワイトヘッドと西田哲学

視覚の生感

昭和五十四年十一月二日

記憶の二過程

日本の国家について

京都大学教授 池田義祐氏
京都大学教授 山本誠作氏
京都大学教授 柿崎祐一氏
京都大学助教授 平野俊二氏
京都大学教授 上山春平氏

六 昭和五十五年度京都哲学会受贈学術図書

三宅剛一『経験的現実の哲学』 (弘文堂)

藤沢令夫『イデアと世界』 (岩波書店)

七 外国哲学者来訪講演記事

ハインリッヒ・ロンバツハ博士(ヴェルツブルク大学教授)

(1)昭和五十五年九月二十七日 於ゲーテ研究所

「人間―対話」

(2) 同 十月二日 於文学部

「ヴァン・ゴッホの作品の構造分析」

(3) 同 十月四日 於文学部

「ヘルメティック」

(4) 同 十月十一日 於文学部

「構造としての世界」

哲学研究 第五百四十三号

デイヴィッド・ヘアズ氏(オックスフォード大学教授)

昭和五十六年六月十九日

於文学部

「Motivated Irrationality と Cognitive Dissonance に

ついて」

八 京都哲学学会委員の異動

京都哲学学会現任委員のうち、昭和五十六年四月一日をもって、

湯浅幸孫氏(停年退官のため)、宗像恵氏(助手退任のため)が退任された。また佐々木丞平氏(美学美術史学講座助教授に就任のため)、伊藤邦武氏(哲学講座助手に就任のため)が新たに委員に加わられた。

なお、五十五年度は、柿崎祐一氏(停年退官)、杉山聖一郎氏および佐々木亮氏(ともに助手退任)が四月一日をもって委員を退任され、また同日付をもって、宝月誠氏(社会学講座助教授に就任)、宗像恵氏(哲学講座助手に就任)が、五月一日をもって池田秀三氏(中国哲学史講座助教授に就任)が、新たに委員に就任された。

社文

習慣の哲学

一四六

稲垣良典 人間とは習慣の形成を通じて自己を実現していく存在であるとして、古代・中世における習慣概念の形成と展開を歴史的に跡づけ、更に習慣の体系的考察により、存在、価値、意志、因果性、認識、経験など哲学の基本問題に光を投げた力作

A5・四八六頁

カントの実践哲学

小西国夫 その基盤と構造——カント哲学の基調ともいふべき実践哲学の上にカント自身の人格性とエートスがどのように結晶し、その両者の有機的連関が如何なるものであったかを解明することにより、実践哲学の再構成を試みた著者畢生の労作

A5・六六〇頁

放下・瞬間・場所

大橋良介 シェリングとハイデッガー——シェリングの脱我とハイデッガーの放下に着目して両者の思惟の道の全貌を解明し、脱我と放下の展開過程が近代形而上学の展開過程に照応していることを示すとともに両概念を東洋的思想の中に見出すことにより、ヨーロッパの思惟の射程をも見定めた問題作

A5・三三〇頁

科学論

H・ロムバツハ 円増・塚本・牧野訳 現代ヨーロッパ哲学会にあつて華々しい論争をまき起している批判的科学論の指導者ロムバツハがドイツ新進気鋭の研究者二十人の協力を得て、実証主義・マルクス主義の科学論を超え、科学を絶対化する立場を根源から批判し新たな形而上学を切り拓く科学論の最新の入門書

四六・五四〇頁

5000

5000

7000

5000